
4003. 出港前報告訂正呼出し

業務コード	業務名
CMR11	出港前報告訂正呼出し

1. 業務概要

出港前報告したオーシャン（マスター）B/L*¹の訂正及び削除を行う場合に、本業務によりシステムに登録されているB/Lを呼び出す。

（*1）「オーシャン（マスター）B/L」とは、「出港前報告（AMR）」業務または「出港前報告訂正（CMR）」業務で登録されたB/Lを指す。

2. 入力者

船会社、船舶代理店

3. 制限事項

なし

4. 入力条件

（1）入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②入力者が船会社の場合は、入力されたB/Lにかかる船会社コードに対する利用者であること。
- ③入力者が船舶代理店の場合は、以下のいずれかの条件を満たすこと。
 - ・入力されたB/Lにかかる船卸港が日本の港でない。
 - ・入力されたB/Lにかかる船卸港が日本の港である場合は、船卸港において本船利用船会社との受委託関係がシステムに登録されている。

（2）入力項目チェック

（A）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（B）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（3）出港前報告情報DBチェック

入力されたB/Lに対して以下のチェックを行う。

- ①オーシャン（マスター）B/Lであること。
- ②「出港前報告B/L関連付け（BLL）」業務により変更前B/Lである旨が登録されていないこと。ただし、同時に変更後B/Lである旨が登録されている場合を除く。

（4）貨物情報DBチェック

「出港日時報告（ATD）」業務が行われている場合は、「積荷目録提出（DMF）」業務が行われていないこと。ただし、リスク分析結果の事前通知が登録されている場合を除く。

5. 処理内容

（1）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(2) 出港前報告訂正呼出情報編集出力処理

出港前報告情報DBより出港前報告訂正呼出情報の編集及び出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(3) 注意喚起メッセージ出力処理

呼出情報を元に訂正内容をシステムに反映する場合は、再送信が必要である旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
出港前報告訂正呼出情報	なし	入力者